

「子どもの急病時の対応」

けいれん編

子どものけいれんとは

子どものけいれんは最も多いのは、熱があつてけいれんを起こす「熱性けいれん」です。その他にも「てんかん」や脳炎・髄膜炎によるけいれんがあります。子どもがけいれんを起こした場合は、次のような状態になります。

けいれんを起こしたら

けいれんを起こしたら、まずは落ち着いてしっかりと「観察」してください。

- ◆観察ポイント
- ・目の位置、手足の状態
 - ・けいれんの続いた時間
 - ・体温（けいれんが治まったら測定）

しばらく様子をみましょう

次の場合は、自宅ですばらく様子を見て、通常の診療時間に受診しましょう。起こったのが1回のみ（5分以内に止まった）

- ・目をあけて周囲の呼びかけに反応したり泣いたりする
- ・以前にもけいれんを起こしたことがあり、そのときの様子と変わりが無い

すぐに受診しましょう

- ・生後6か月未満
- ・はじめてのけいれん
- ・24時間以内に2回以上のけいれんが起きた
- ・けいれんが左右対称でない
- ・体温が38℃以下でけいれんを起こした

救急車を呼ぶ

- ・けいれんが5分以上続く
- ・けいれん後、1時間以上たつても意識がはつきりしない（目が合わない、お父さん、お母さんが分からないなど）

- ・左右の眼球が揃って上がったり下がったり、側方へ寄ったままの状態になる
- ・正面を向いていても視線が合わない
- ・顔色や唇の色が急速に青白くなる。けいれんが治まると、直後に顔色も唇の色も急速に回復する
- ・手足をほぼ同時に周期的に大きく伸ばしたり、曲げたりする



- ◆気をつけること
- ・静かに寝かせ、衣服をゆるめる（ゆすったり、抱きしめたりしない）
- ・顔を横に向ける（吐いたものの窒息を防ぐため）
- ・けいれん中は口の中に物や指を入れない（けがや窒息を防ぐため）

健康長寿課
(すこやか内)
☎87・0888

石碑探訪 11

林季梁遺徳碑



この碑は、市民会館と道を挟んで向かい西側に建っている

季梁（9代通保）は享和元年（1800）に、代々小笠原家の家老職を勤める林家に生まれた。幼名を岩三郎と称し、その後、芥蔵・棟・季梁（字名）などと改め、晩年は毛川と号した。文化12年（1815）に知行250石で家督を相続し、翌年江戸詰めとなった。江戸詰めの際、文政10年（1827）に江戸幕府直轄の昌平坂学問所に入塾して儒学を学んだ。この間、江戸後期を代表する思想家で、幕末の尊王攘夷運動に大きな影響を与えた頼山陽、江戸末期の儒学者で「新建成器堂」額を記した亀田綾瀬等と親交を結んだ。毛川は天保11年

（1840）、家老兼勝手方頭取となり、以後15年にわたり勝山藩の藩政改革に努めた。

藩政に対する基本理念を示した「時務拙論」と、改革の具体的要点を挙げた「改革要務」により藩政改革は進められた。具体的な事蹟としては、秦魯齋とともに取り組んだ成器堂の開設や、長山に講武台（軍事訓練場）を造成したほか、勝山煙草を藩専売とし、その品種改良と販路拡大に努めた。このほかにも火消制度の再編・民兵の採用など、毛川の功績を数え上げると限りがない。石碑には履歴とその功績の一部が記されている。

安政2年（1855）、九頭竜川の築堤工事が始められた直後、毛川は23歳になった8代藩主長守により突如罷免される。その理由として、先に挙げた事業を進めるため多額の御用金を賦課したことが暗に示されている。同5年病没。孫に当たる鶴太は、明治12年（1879）に勝山製糸会社の社長を勤めた。

碑は明治22年に建てられ、題字は小笠原長守、浄書は毛川の庶長子雪逢、碑文は漢学者の重野安禪の手になる。なお、大正13年（1924）にはその功績が認められ、正五位が贈られた。

市史編纂室 山田 雄造

おすすめ図書

勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>

一般図書



「雑誌倶楽部」

出久根 達郎／著
実業之日本社

雑誌は、教科書に出ていない事柄や覚えも何の役にも立たぬことなど、ありとあらゆることを教えてくれる。しかし、無用の用がこの世には必要なのだ。雑用、雑考、雑感・雑の大切さを教えてくれるのが、雑誌なのである。

中高生図書



「医者になりたい君へ」
～心臓外科医が伝える命の仕事～
伝える命の仕事～
須磨 久善／著
河出書房新社

日本初の難手術「バチスタ手術」（胃大網動脈を使ったバイパス手術）を成功させ、5千回以上心臓の手術をしてきた著者が、怖さとの闘い、外科医を志したきっかけなどについて語り、命の大切さ、医学の道の厳しさと素晴らしさを伝える。

こども図書



「親子で楽しむ
こどもペット塾」
勝俣 和悦／著
明治書院

ペットがほしいと思ったら、ずっと大切にできるか、みんなで話し合おう。ペットの種類、飼う前の準備、必要な世話、どのくらい一緒にいられるのか…。好きだけではつとまらない飼い主の責任について考える。

人口の動き

	2月末現在	自然動態			社会動態			3月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,052人	4	-21	-17	33	-75	-42	11,993人	-59人
女	13,186人	7	-22	-15	32	-64	-32	13,139人	-47人
合計	25,238人	11	-43	-32	65	-139	-74	25,132人	-106人
世帯数	8,099世帯							8,088世帯	-11世帯

4月の納税

固定資産税 ▶ 第1期
納期限 ▶ 4月30日(水) □座振替 ▶ 4月28日(月)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成26年3月末	前年比
総件数	145件	-3件
人身事故 (うち高齢者)	15件 (3)	+3件 (0)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	0人 (0)
傷者	16人	+4人
物損事故	130件	-6件

勝山警察署

「暮らしの安心掲示板」
登山を楽しむ安全に

最近の登山ブームで山歩きを楽しむ人が増えていますが、事故も増えています。遭難事故防止に努めましょう。

「事故防止のポイント」

- ・単独登山は避け、経験者と登山する
- ・健康チェック、十分な装備でのぞみましょう
- ・無理な登山計画は立てず、自分に見合ったゆとりある登山をする
- ・必要な資器材を揃えましょう（携帯電話、防寒具、懐中電灯、非常食等）
- ・下山時も油断しない
- ・道に迷った場合は、むやみに歩き回らずに携帯電話等で通報しましょう
- ※登山計画書を提出しましょう（提出先は左記）

勝山警察署
☎88・0110

福井県警察本部生活安全部
地域課
☎076・22・2880

福井県警察本部のホームページから電子申請等もできます



勝山市安全安心推進審議会